

アフターサービス

●保証書(別紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ビューアソフト、専用アプリは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
(<https://www.yupiteru.co.jp/>)

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2059
ver 2.2

 **SUPER NIGHT**

カメラ一体型ドライブレコーダー

 **Yupiteru**

SN-HQ90d

12V/24V車対応

取扱説明書

安心してお使いいただくために、必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。(P.12)

本機で使用する専用ソフトは、付属のSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。
(<https://www.yupiteru.co.jp/>)

HDR 搭載
(ハイダイナミックレンジ)
白トビや黒ツブレを抑え、
より明瞭な映像を記録します。



 Available on the
App Store

ANDROID APP ON
 **Google play**

このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源OFFしてからSDカードを抜いて保管してください。
- ・電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。

確認
注意

基礎
知識

設置
と
準備

専用
ソフト

専用
アプリ

その他

●重要事項●



必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（＝不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画データが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。数ヶ月に一度SDカードをフォーマット（●P.12）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

- 大切なデータはバックアップしましょう。
フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画データ」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。（●P.48）
- SDカードは消耗品です。
フォーマットしてもSDカードエラー（●P.72）が頻繁に起こる場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。
- SDカードの買換えは純正品を必ずご使用ください。
どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

もしも事故が起きたら・・・ 10

SDカードをフォーマットする 12

基礎知識

各部の名称と働き 15

1. 付属品 16

2. 別売品 16

3. 付属品・別売品の購入について 16

SDカードの装着/取り外し 17

1. SDカードを本体へ装着する 17

2. SDカードを本体から取り外す 17

録画について 18

1. 常時録画 18

2. イベント記録
（Gセンサー記録とワンタッチ記録） 19

3. マルチトリガーについて 20

4. 上書きモードについて 20

駐車記録について 20

1. 駐車記録をする 20

GPS機能について 21

1. GPSを測位する 21

初期値について 21

メンテナンスについて 22

設置と準備

本機の取り付け 23

1. 本機の接続認証IDを確認する 24

2. 本機を取り付ける 24

3. 電源を接続する 26

別売品の取り付け 27

1. 電圧監視機能付 電源ユニット
（OP-VMU01）の接続方法 27

専用ソフトの準備 31

1. 専用ソフトをインストールする 31
2. 設置角度検出をする 31

動作確認 34

1. テスト記録をする 34
2. テスト記録の確認 35

専用ソフト

専用ソフトの使いかた 37

1. 録画データの準備 37
2. 画面説明 38
3. 表示方法の種類 40
4. 表示エリアの操作 42

再生する 44

1. 録画データを再生する（イベント記録） 44
2. 録画データを再生する（常時録画） 45
3. ボタン操作について 46

保存する 48

1. バックアップ 48
2. 動画変換 49
3. 静止画変換 50

印刷する 51

1. 記録した映像を印刷する 51

履歴記録 52

1. 履歴記録を見る 52

ログデータ変換 54

1. Google Earth用のデータに変換する 54

レポートを表示する 56

1. レポートを表示（印刷）する 56

設定を変更する 58

1. 記録設定 59
2. システム 61
3. 衝撃感度設定 61
5. SDカードフォーマット 62
6. 録画データ削除 63
7. バックアップ 64
8. 無線LAN接続ID変更 64

インフォメーション 65

専用アプリ

専用アプリについて 66

1. 専用アプリをインストールする 66
2. 無線LAN接続する 66

その他

別売品のSDカードを
使用する前に・・・ 67

1. 使用前の準備 67

SDカードの機種設定の確認/変更・・・ 69

1. SDカードの機種設定を確認する 69
2. SDカードの機種設定を変更する 70

動作一覧 71

こんなときは 72

故障かな？と思ったら 73

仕様 76

映像記録時間の目安 77

1. [常時＋イベント]に選択した場合の録画時間 77
2. [常時＋イベント]に選択した場合の
イベント記録件数 78
3. [常時録画]に選択した場合の録画時間 79
4. [イベント記録]に選択した場合の
イベント記録件数 80

索引 81

アフターサービス 83

1. お客様ご相談センター 83

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告：**「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ **注意：**「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

➡ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

ⓘ 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

➡ 裏表紙「アフターサービス」

ⓘ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

ⓘ 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

ⓘ 本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

⊘ 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



⊘ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⚠ 注意

⊘ 結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



⊘ 落としたり、強いショックを与えないでください。破損、故障の原因となります。

⊘ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。故障の原因となります。

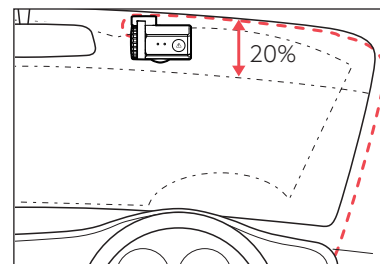
⚠ 本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

●取り付けについて

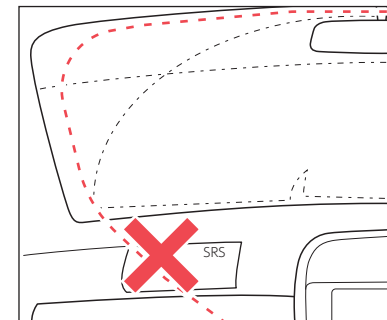
⚠ 警告

ⓘ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。



ⓘ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、車両の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

ⓘ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

ⓘ 取り付けは確実に行ってください。本機の脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

ⓘ 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

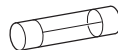
ⓘ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。
- ❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。
バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。
- ❗ コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。
異常過熱や発火の原因となります。
- ❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。
車両の電装品（ブレーキ、ライト、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換用ヒューズ（2A(20mm×5.2mm)）に交換してください。



- ❗ 指定された電源電圧車両以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。



- ⚠ SDカードは一方にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❗ 運転中にカメラ等を注視しないでください。
前方不注意による事故の原因となります。
- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

●本機のお手入れについて

⚠ 警告

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- ❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・録画条件により、録画のコマ数(フレームレート)が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

電源直結コードに関する注意

- ・電源コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

SDカードに関する注意

- ・SDカードは必ず付属品が別売品を使用してください。市販品のSDカードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- ・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、専用ソフトでの[SDカードフォーマット]を行ってください。
- ・SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

電波干渉について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様ご相談センターに御連絡いただき、混信回避の処置などについてご相談ください。
 - ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(P.90)

2.4 DS/OF 4

- ・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。

4 : 電波干渉距離は40mです。
■■■■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

使用前の注意

- ① P.31を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
- ② 専用ソフトのファイルメニュー[ツール]→[記録設定]から各種設定を確認し、[SDカードへ保存]をクリックしてください。

保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、SDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

SDカードの保管

保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

こんなときに録画データが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

■ 別売品の電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品の電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

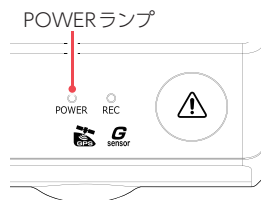
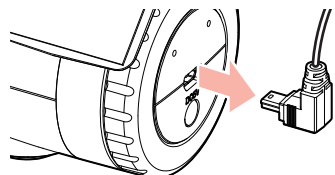
1 車両のエンジンをOFFする

駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては、電源OFFします。

「2.本機のDCジャックから電源コードを取り外す」へお進みください。

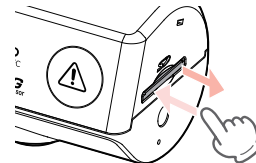
2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

3

SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く



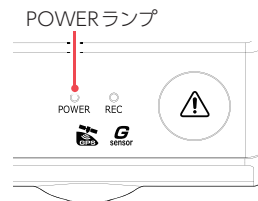
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

■ 付属品の電源直結コード接続時

付属の電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1

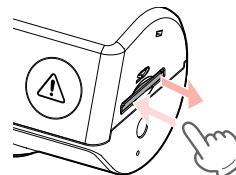
車両のエンジンをOFFする



本体の電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

2

SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

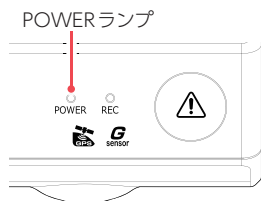
※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格に対応したSDカードリーダーライターやSDHC規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

※専用ソフトに接続した際に、「有効なSDカードではありません」と表示された場合は、P.67「使用前の準備」を行ってください。

SDカードフォーマットの手順

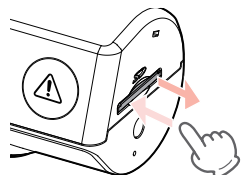
1 車両のエンジンをOFFする



本体の電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

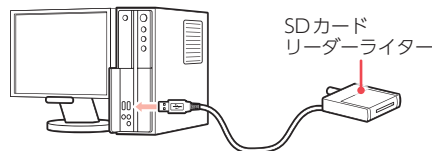
※別売品の電圧監視機能付電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。

2 SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く

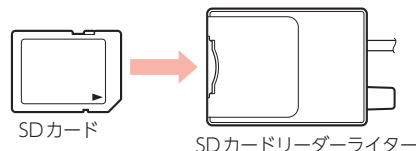


※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

3 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

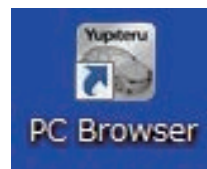


4 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

5 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



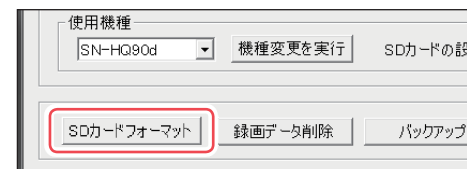
6 メニューバーの[ツール] → [記録設定]を選択する



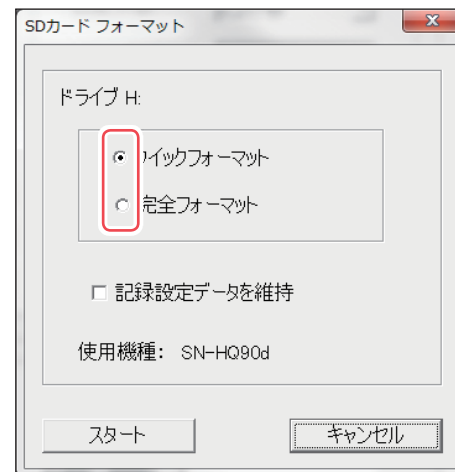
7 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]ボタンをクリックする



8 [SDカードフォーマット]をクリックする



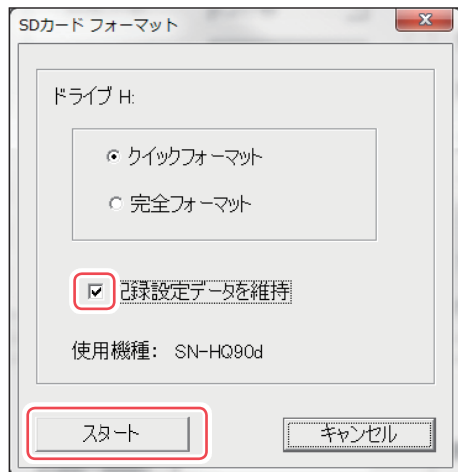
9 [クイックフォーマット]と[完全フォーマット]のいずれかを選択する



<SDカードフォーマット画面>

- ・クイックフォーマット
短時間でフォーマットを行います。
- ・完全フォーマット
完全にフォーマットを行います。
※クイックフォーマットよりも時間がかかります。

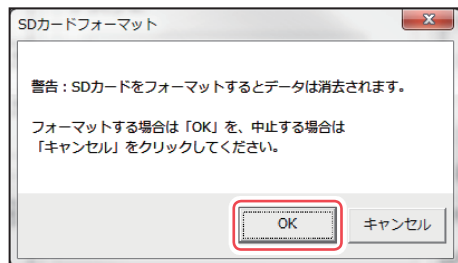
10 [記録設定データを維持]に ☑を入れ、[スタート]をク リックする



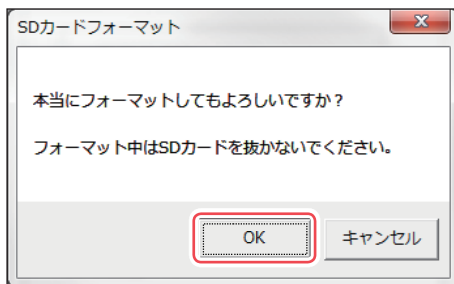
・☑ 記録設定データを維持

SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。☑を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

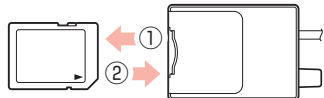
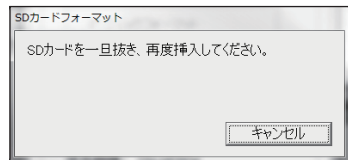
11 [OK]をクリックする



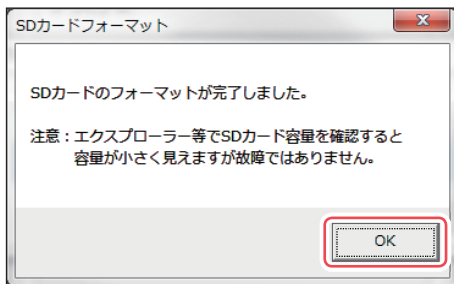
12 [OK]をクリックする



※完全フォーマットの場合、下記の画面が表示されます。画面の説明に従ってSDカードの抜き差しを行ってください。



13 [OK]をクリックする

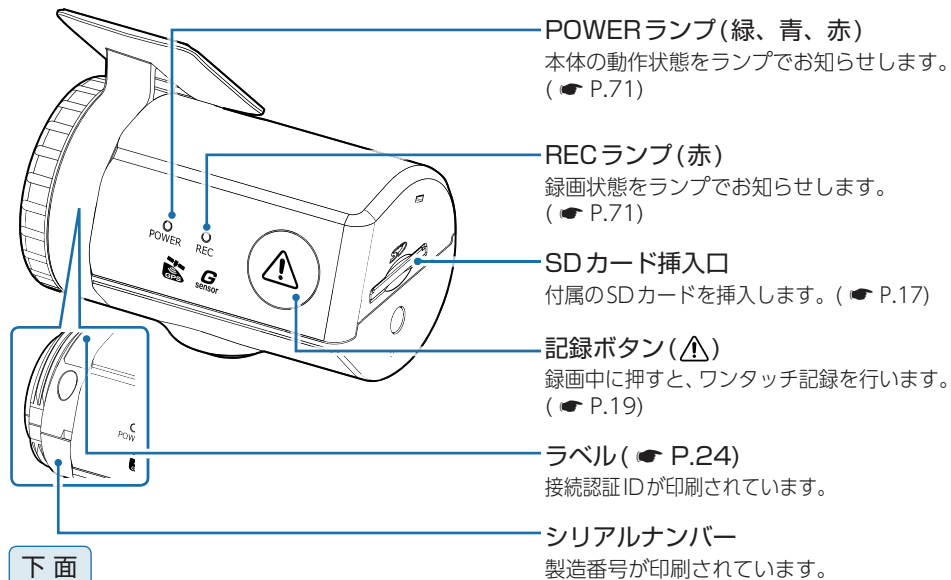


以上でフォーマットは完了です。

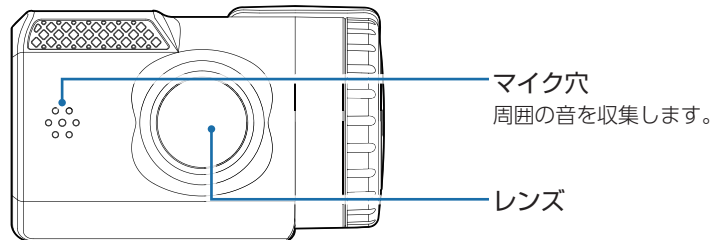
各部の名称と働き

■ 本体

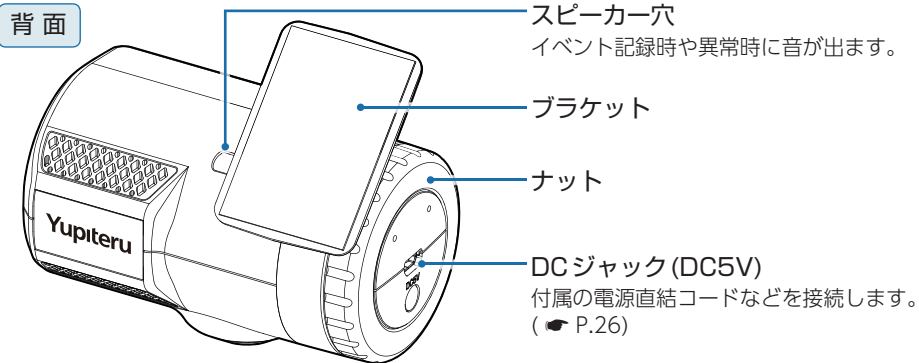
正面



下面



背面

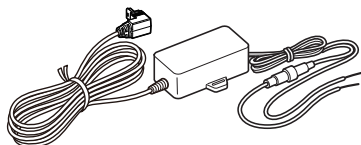


1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット	1
■ ナット	1
■ 両面テープ (P.24)	1
(ブラケットに使用します。)	
■ 専用SDカード(16GB)	1
■ 保証書	1

■ 5V コンバーター付電源直結コード (約4m)(12V/24V車対応) (P.26)	1
--	---



- ・本機には、お買い上げの日から3年間の製品保証がついています。ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 電圧監視機能付 電源ユニット ^{※1} OP-VMU01(12V/24V車対応) 本体 6,000円 + 税 車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。 (P.27)	■ 専用SDカード(8GB) ^{※2} OP-SD08 本体 3,000円 + 税
	■ 専用SDカード(16GB) ^{※2} OP-SD16 本体 5,000円 + 税
	■ 専用SDカード(32GB) ^{※2} OP-SD32 本体 10,000円 + 税
本体.....1	
入力コード.....1	
両面テープ.....1	

※1：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

※2：付属品、または別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、右記ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの装着/取り外し

⚠ 注意

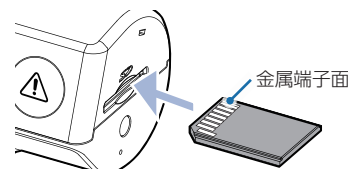
- ・電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。
- ・付属品または別売品の専用SDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

1. SDカードを本体へ装着する

1-1 車両のエンジンをOFFする

本体の電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで爪などで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

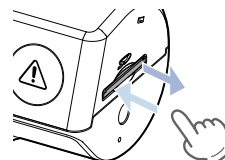
2. SDカードを本体から取り外す

別売品の電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。詳しくは、P.10を参照ください。

2-1 車両のエンジンをOFFする

本体の電源OFF後、POWERランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く

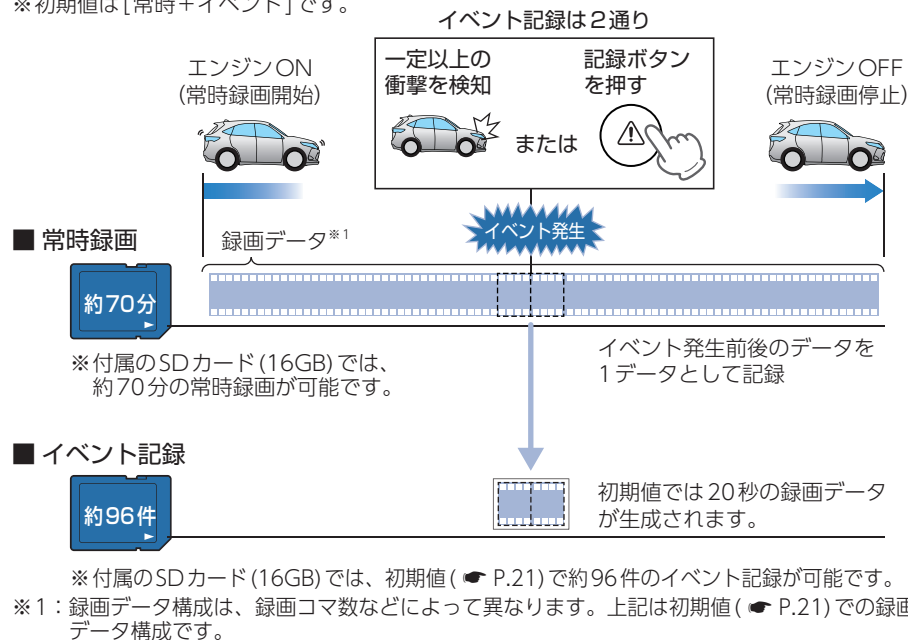


※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時+イベント]があります。専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(P.59)

※初期値は[常時+イベント]です。



- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、録画データを上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(P.59)
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- ・SDカードが未挿入や異常時、またはエラーの場合は、映像を記録することはできません。(P.72)

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(P.59)

- ・録画可能時間
初期値(P.21)で、付属のSDカード(16GB)に約70分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(P.77「映像記録時間の目安」)
- ・上書きモード
初期値では、上書きモードが[ON]のため、70分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(P.20「上書きモード」)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録時は音が鳴り、記録が行われます。

※前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。(P.59)

※記録時の音は設定でOFFにすることができます。(P.61)

※Gセンサー記録、ワンタッチ記録それぞれの記録時間を個別に設定することはできません。

・録画データ構成

初期値(P.21)で1データ20秒(イベント発生前後10秒)で生成します。

・最大記録件数

初期値(P.21)で、付属のSDカード(16GB)に約96件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(P.77「イベント記録件数」)

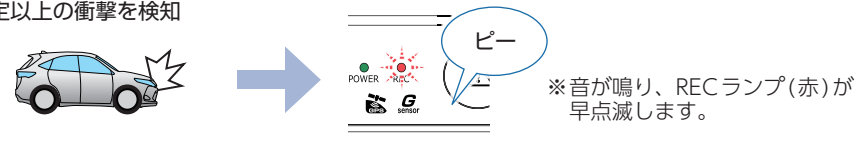
・上書きモード

初期値では、上書きモードが[ON]のため、記録件数が96件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(P.59)

■ Gセンサー記録

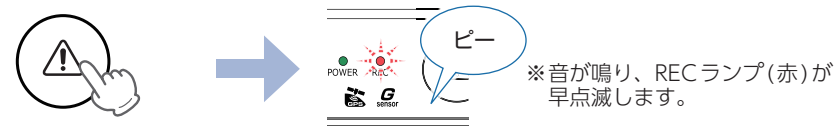
内蔵のGセンサーが一定以上の衝撃を検知した場合には「Gセンサー記録」として前後の映像をSDカードに記録します。

一定以上の衝撃を検知



■ ワンタッチ記録(手動録画)

本体の記録ボタンを押すことで、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」としてSDカードに記録します。



録画設定が[常時録画]または[常時録画+イベント]の場合、記録ボタンを押すことで、常時録画の映像に対してタイムラインにトリガが黄色でマークされます。

※トリガは常時録画の映像に対してマークされているため、常時録画の映像が上書きされた場合、トリガも上書きされます。

※録画設定を[常時録画]にした場合、ワンタッチ記録は行いませんが、常時録画データにトリガはマークされます。

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も1つのファイルとして連続で記録します。

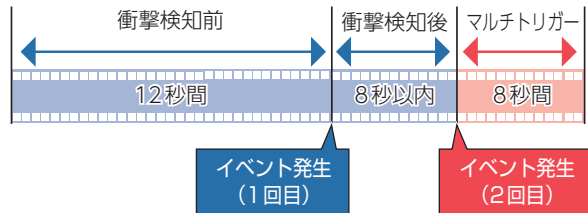
※マルチトリガー検知後は、設定されている時間(衝撃検知後の時間)記録します。

※イベント記録の1ファイルの最大秒数は、60秒になります。

※イベント記録時間の設定が60秒(30,30)の場合は、マルチトリガーは行いません。

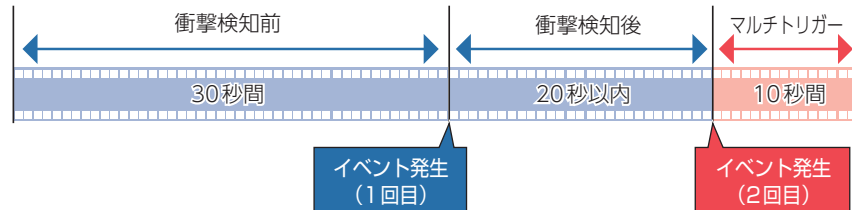
■ 例1：イベント記録時間の設定が12秒 / 8秒の場合

2回目のイベント発生後、さらに8秒間イベント記録を続けます。



■ 例2：イベント記録時間の設定が30秒 / 20秒の場合

1ファイルのイベント記録の最大秒数が60秒のため2回目のイベント後、さらに10秒間イベント記録を続けます。



4. 上書きモードについて

上書きモードを[OFF]にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、「ピーピーピーピー」と4回音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。(P.59)

駐車記録について

本体と別売品の電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)を接続させることにより、車両の電源OFF後も設定した時間(オフタイマー設定)、本体に電源が供給され、駐車中も常時録画やイベント記録を行うことができます。

1. 駐車記録をする

1-1 車両のエンジンをOFFする

設定した時間や電圧以下になるまで、本体に電源が供給され駐車記録を行います。

GPS 機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。

※走行履歴の記録時間は、「履歴記録時間」で変更できます。(P.59)

1. GPSを測位する

1-1 車両のエンジンをONする

本体が電源ONすると、GPS測位機能が働きます。

※通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後やビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

TVによるGPS測位障害について

車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説明
録画方法	常時+イベント	常時録画とイベント記録(Gセンサー記録・ワンタッチ記録)を行います。
解像度	高(2048×1440)	2048×1440の解像度で記録します。
録画コマ数	30コマ/秒	1秒あたり30コマで記録します。
イベント記録時間	10,10 [20秒]	イベント発生前後10秒(20秒)で記録します。
音声録音	ON	映像と一緒に録音します。
履歴記録時間	24時間	24時間分の履歴(ログデータ)を記録します。
履歴記録コマ数	1コマ/秒	1秒あたり1コマで履歴記録を記録します。
駐停車モード	ON	一定以下の状態が5分間続くと、録画コマ数が1コマ/秒になります。
通信設定	5分	無線LAN接続中に通信範囲外になった場合、5分後に自動で録画を再開します。
上書きモード	すべてON	常時録画やイベント記録などの全てのデータがSDカード容量いっぱいになると、古いデータから順に上書きして録画し続けます。
ビーブ音	ON	イベント記録時に音でお知らせします。
Gセンサー記録	有効	Gセンサー記録を行います。
Gセンサー感度	すべて5	衝撃/急発進/急ハンドル/急ブレーキの検出感度を「5」に設定しています。

※初期値を変更する場合は、P.58「設定を変更する」を参照ください。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 数ヶ月に一度のメンテナンス

⚠ 注意

必ず数ヶ月に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(P.12)

■ 必要に応じてメンテナンス

・ 付属の電源直結コードのヒューズ交換

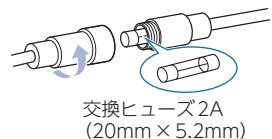
※ 交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないか確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・ 別売品のヒューズ交換

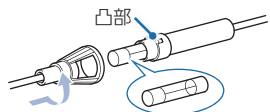
※ 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01): 交換用ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)

接続状態でエンジンをかけても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないか確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダー先端を、押しながらか図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながらか図の矢印と逆方向に回す。



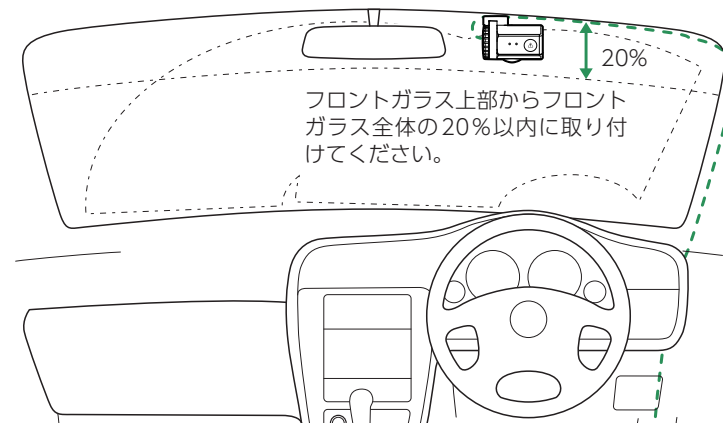
OP-VMU01: 交換ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

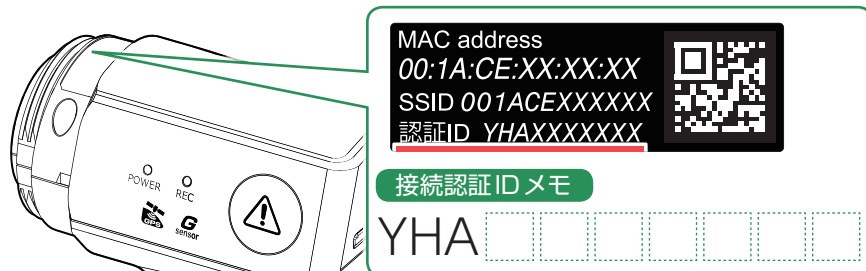
取り付けの注意

- ・ フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- ・ 両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・ ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・ 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・ フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・ エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ 本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・ 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・ 取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機の接続認証IDを確認する

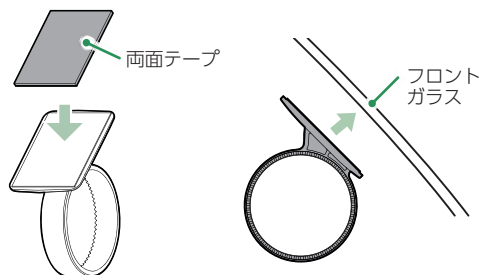
本機には専用アプリ用の接続認証IDが印刷されています。専用アプリで使用するため、取り付け前に必ず接続認証IDを確認しメモしてください。



2. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

2-1 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

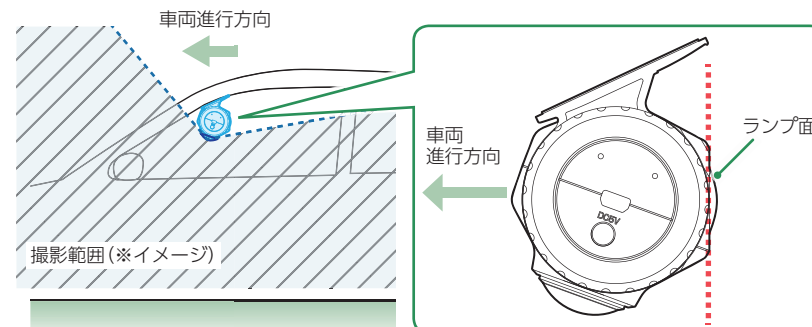


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

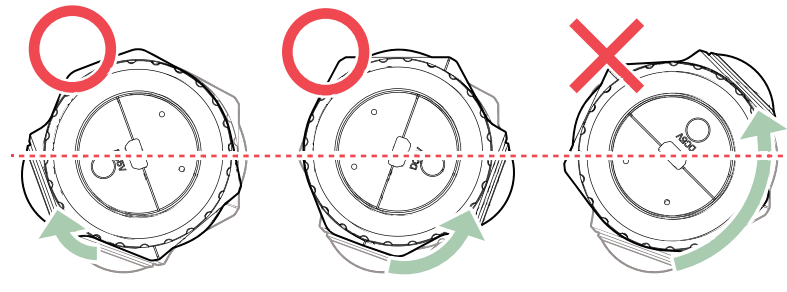
- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

2-2 ブラケットに本体を装着し、ランプ面が地面と垂直になるように調整する

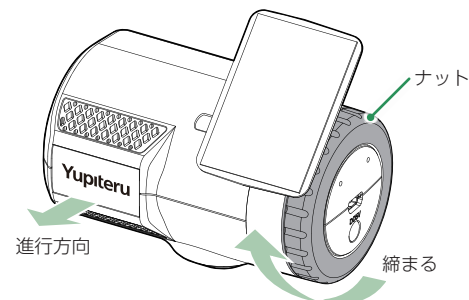


※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

レンズを水平より上に向けた場合、Gセンサー記録が正しく動作しません。
調整時は、水平より下に向けて調整してください。



2-3 ナットを締めて固定する



※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

3. 電源を接続する

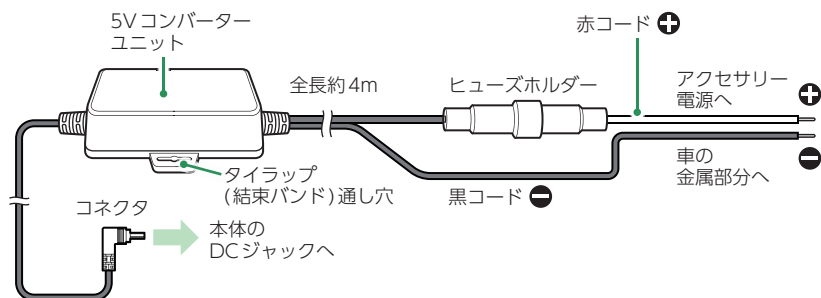
付属の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

※別売品の接続方法は(P.27)を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

3-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

※付属の電源直結コード、または別売品の電源直結コード(P.16)をご使用ください。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被服の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

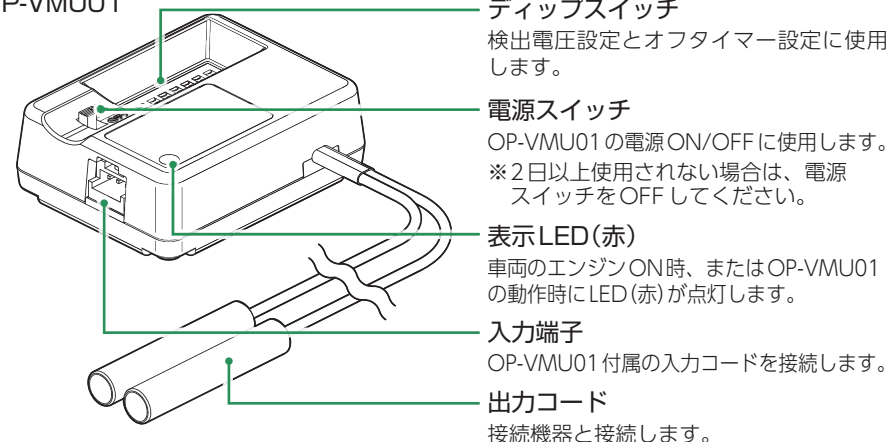
別売品の取り付け

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

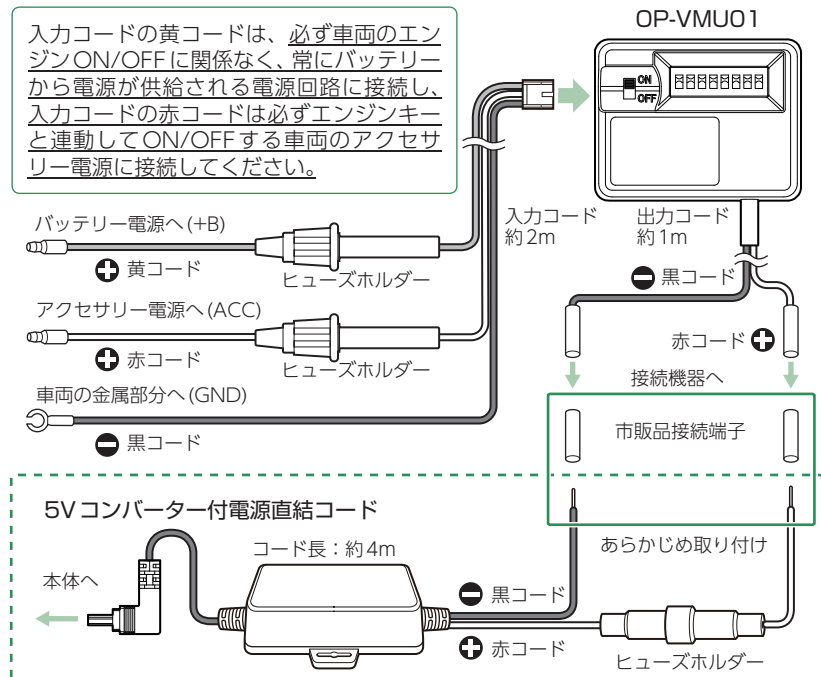
■ OP-VMU01



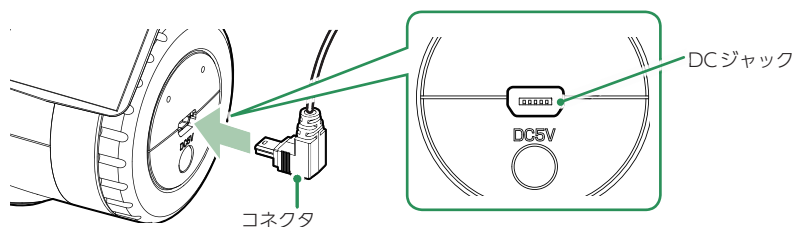
■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

- ① OP-VMU01
- ② OP-VMU01 付属入力コード
- ③ 市販品接続端子
- ④ 5V コンバーター付電源直結コード

1-1 OP-VMU01 を車両に接続する



1-2 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

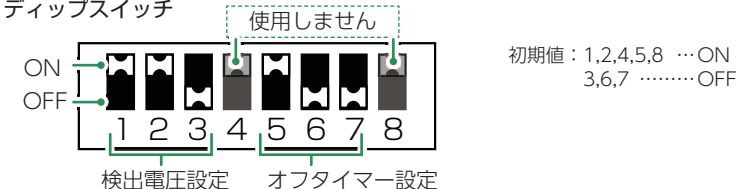
エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

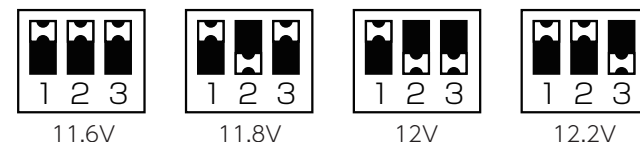
※ディップスイッチの4, 8は、使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。

※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。

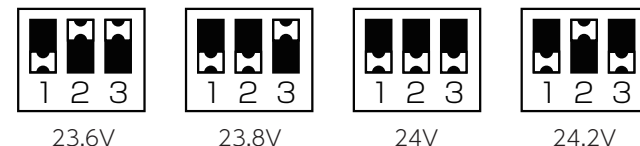
ディップスイッチ



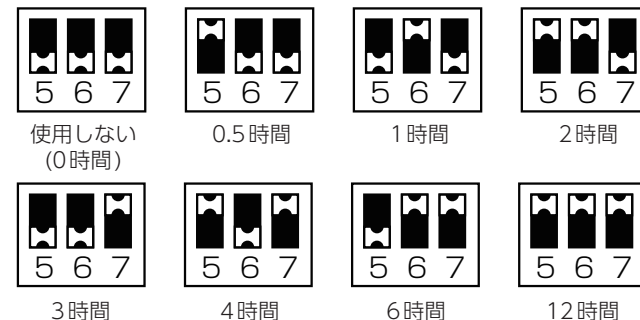
■ 検出電圧設定 (1 ~ 3 使用) 12V車



■ 検出電圧設定 (1 ~ 3 使用) 24V車



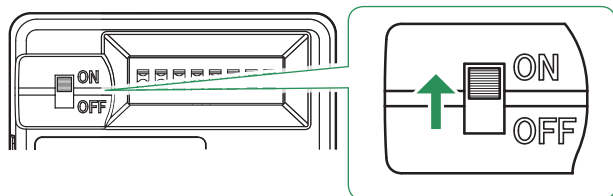
■ オフタイマー設定 (5 ~ 7 使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-6 電源スイッチをONする



1-7 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

専用ソフトの準備

本機で記録した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU: Core i5相当、3.0GHz以上

メモリ : 8GB 以上

DirectX9.0c以降のバージョン

※ 2018年12月現在

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

※本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※専用ソフトの画面サイズは1024 × 768 ピクセル固定です。

※コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。

1. 専用ソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

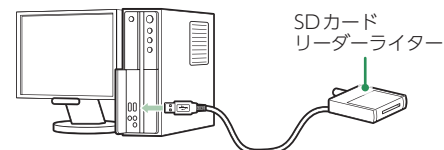
※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※誤って専用ソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

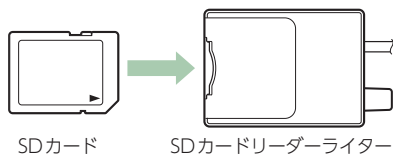
※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 設置角度検出をする

2-1 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

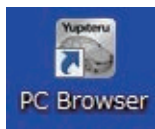


2-2 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

2-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



専用ソフトが起動します。

専用ソフトが起動しない場合

「DirectXの初期化に失敗しました」、「d3d9.dllがありません」、「xxx.dllが見つからなかった・・・」といったエラーに対処するには「DirectX Runtime」のアップデートが必要になります。
「DirectX エンドユーザーランタイム」で検索しダウンロードおよびインストールを行ってください。

2-4 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



2-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



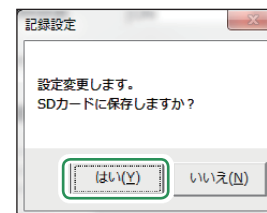
・「有効なSDカードではありません」と表示される場合
➡ P.67「使用前の準備」

2-6 [設置角度検出を実行]に☑を入れ、[SDカードへ保存]をクリックする

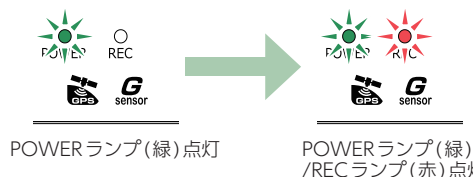


※[設置角度検出を実行]の☑は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、☑を入れる必要はありません。

2-7 [はい]をクリックし、パソコンからSDカードを取り出す



2-8 本体に設定済みのSDカードを挿入し、車両のエンジンをONする



・SDカードの挿入方法は…
➡ P.17「SDカードの装着/取り外し」

設置角度検出を自動で行います。
POWERランプ(緑)とRECランプ(赤)が点灯になれば完了です。

※平らな場所で行ってください。
※設置角度検出が完了するまで、車両は移動させないでください。
※本体から『ピーーーー』と鳴る場合は ➡ P.72「こんなときは」を参照ください。

動作確認

設置角度検出後、手順に沿って動作確認を行ってください。

1. テスト記録をする

1-1 車両のエンジンをONする

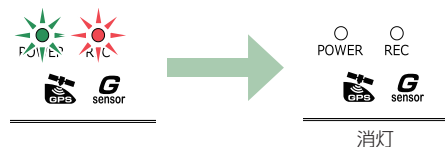


POWERランプが点灯し(録画準備中)、その後にRECランプが点灯して録画を開始します。数分、常時録画を行ってください。

録画開始までの時間について

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。RECランプの状態を確認してから走行を開始してください。

1-2 車両のエンジンをOFFする



POWERランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

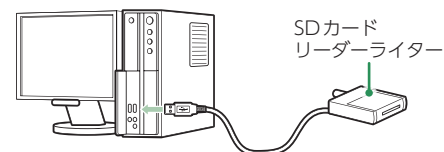
※GPS測位している場合、電源OFFした際に本体時刻の補正が自動的行われます。

2. テスト記録の確認

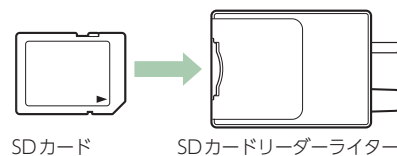
※本ソフトは、本機専用のソフトです。本機以外の機種で記録した映像は読み込むことができません。

2-1 本体からSDカードを取り外す (P.69)

2-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

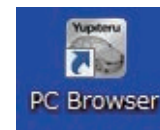


2-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

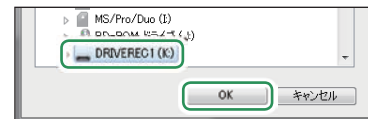
2-4 デスクトップの[PC Browser] アイコンをダブルクリックする



2-5 (フォルダ)をクリックする

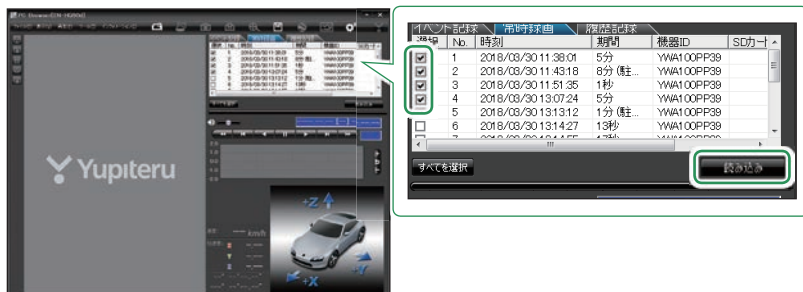


2-6 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

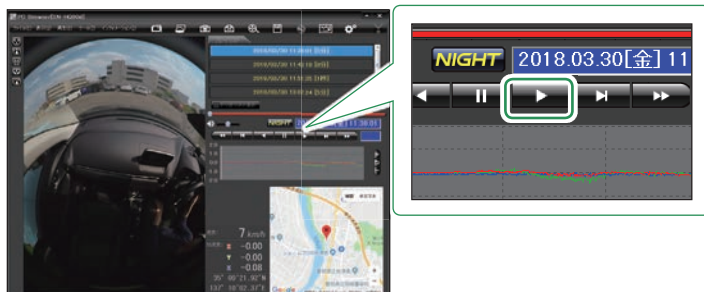
2-7 見たい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。

2-8 (再生)をクリックする



録画データを再生します。

ボタン操作の詳細は P.46 を参照ください。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

テスト記録を確認したら…

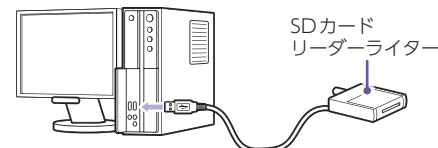
テスト記録に問題が無ければ、記録設定 (P.59) をお好みの設定に変更して、SDカードを本体に戻してご使用を開始してください。

問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

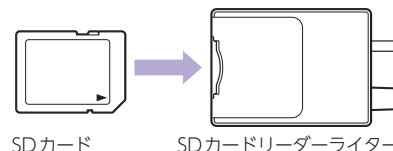
専用ソフトの使いかた

1. 録画データの準備

1-1 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

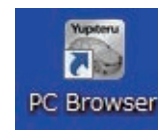


1-2 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

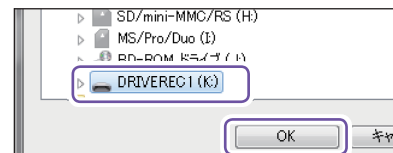
1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



1-4 (フォルダ)をクリックする



1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

2. 画面説明



No.	表示名	説明
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		表示方法選択画面を表示します。(P.40)
		静止画に変換します。(P.50)
		印刷をします。(P.51)
		動画変換します。(P.49)
		データのバックアップをします。(P.48)
		ログデータに変換します。(P.54)
		レポートを表示します。(P.56)
		記録設定の変更をします。(P.58)
②	表示切替ボタン	魚眼表示にします。
		拡大フラット表示にします。
		2画面表示にします。
		180度VR/パノラマ表示します。
		別ウィンドウで表示します。

No.	表示名	説明
③	音量切替ボタン	ミュート、音量調整 (P.47) をします。
④	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。(P.42 「表示エリアの操作」)
⑤	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。
⑥	シークバー	クリック位置から再生できます。
⑦	NIGHT(ナイト)モードボタン	NIGHT 映像を明るく表示します。(P.42) ON : NIGHT (青背景)、OFF : NIGHT (黒背景)
⑧	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。(P.39)
⑨	再生ボタン・再生速度	再生や、早送りなどの操作を行います。再生時に再生速度を表示します。(P.46)
⑩	加速度センサーグラフ	加速度センサーグラフを表示します。(P.47)
⑪	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Maps に連動して自車位置が移動します。 ※インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。 ※表示したくない場合は、[読み込み]をクリックする前にメニューバーの[ツール]→[地図表示選択]→[地図を表示しない]を選択してください。
⑫	走行表示速度	GPS で記録した走行速度を表示します。
⑬	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向：赤色)、左右(Y方向：黄緑色)、上下(Z方向：青色)で表示します。
⑭	緯度・経度表示	GPS で記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。

時刻について

時刻には本体時刻(本体に記録されている時刻)とGPS時刻(GPS測位により取得した時刻)があります。各録画方法により録画データ名で使用される時刻は異なります。

常時録画	本体時刻を使用します。(P.45)
イベント記録	GPS非測位の場合は本体時刻、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(P.44)
履歴記録	本体時刻を使用します。(P.52)

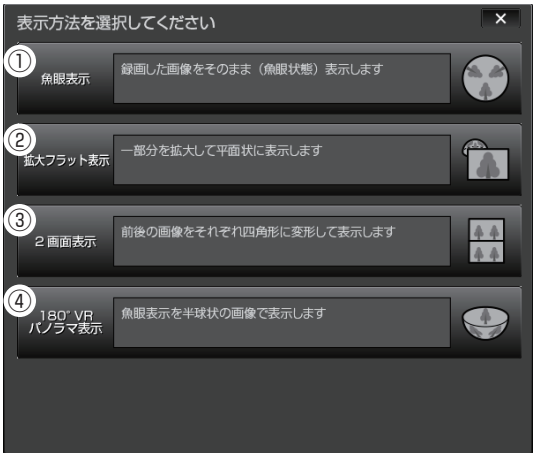
録画データ再生中の表示時刻について
録画データを再生中に本体時刻で表示(GPS非測位時)している場合、GPS測位をしたタイミングでGPS時刻に表示を更新します。



3. 表示方法の種類

 をクリックすると表示方法選択画面が表示され、表示方法を選択することができます。
また、表示切替ボタンをクリックすることでも表示方法を変更できます。

■ 表示方法選択画面



■ 表示切替ボタン



No.	表示名	アイコン	画 面
①	魚眼表示 録画した画像をそのまま（魚眼状態）表示します。	 	

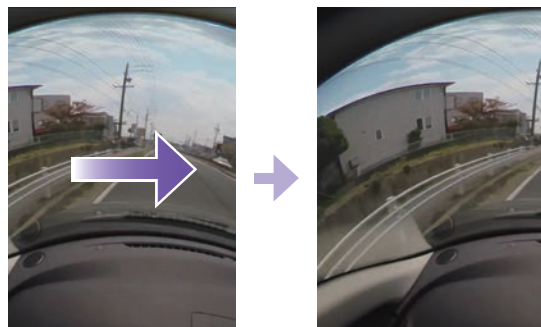
No.	表示名	アイコン	画 面
②	拡大フラット表示 一部分を拡大して平面上に表示します。	 	
③	2画面表示 前後の映像をそれぞれ四角形に変形して表示します。	 	
④	180° VRパノラマ表示 魚眼表示を半球状の画像で表示します。	 	
⑤	別ウィンドウで表示 別のウィンドウで表示します。		

4. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

〈移動〉

マウスの左ボタンをドラッグし、表示させたい部分まで移動します。



■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで[画面表示エリアのメニュー]を表示します。



No.	表示名	画 面
①	画像状態 画像の向きを表示します。	—
②	標準に戻す 反転、拡大・縮小した画像を初期表示に戻します。	—
③	画面操作 本機では使用しません。	—

No.	表示名	画 面
④	反転 左右反転：画像を左右に反転します。 上下反転：画像を上下に反転します。	<左右反転> <上下反転>
⑤	拡大・縮小 拡大：表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。 縮小：表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。	<縮小> <拡大>
⑥	回転(角度指定) 本機では使用しません。	—
⑦	周囲カメラ表示調整 本機では使用しません。	—
⑧	NIGHT(ナイト)モード 映像を明るく表示します。	OFF ON
⑨	別ウィンドウで表示 別のウィンドウで表示します。	P.41 「別ウィンドウで表示」

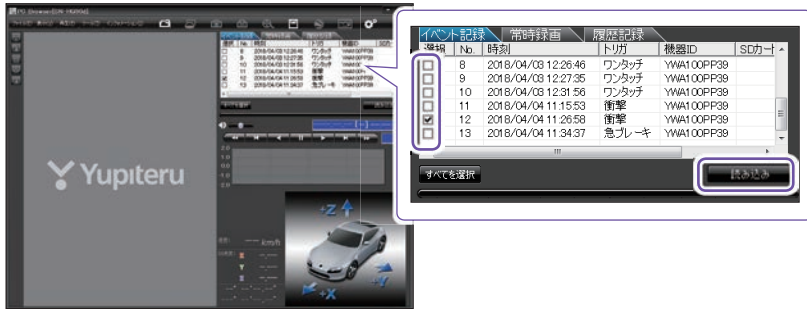
再生する

1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 見たい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする



選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は
☛ P.46 「ボタン操作について」を参照ください。

- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[イベント]でも同じ画面表示になります。
- ※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

■ 画面表示について



No	表示名	説明
①	トリガリスト表示ボタン (☛ P.47)	イベント位置(衝撃検知位置やワンタッチ記録位置)を表示します。
②	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。

イベント記録のデータ名について

衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

※本体時刻または、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(☛ P.39)

2018 / 04 / 04 11 : 26 : 58 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ(映像を記録するきっかけ)

●トリガ

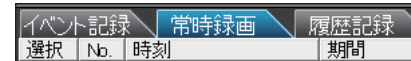
衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急発進/急ブレーキ」「急ハンドル」、記録ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

※トリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

※衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃,など」と記録されます。

2. 録画データを再生する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 見たい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリック



選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は
☛ P.46 「ボタン操作について」を参照ください。

- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[常時録画]でも同じ画面表示になります。

・駐停車モード(☛ P.59)で記録した場合…
期間に「(駐停車モード)」と表示されます。

■ 画面表示について



No	表示名	説明
①	トリガリスト 表示ボタン (P.47)	常時録画中のイベント位置 (衝撃検知位置やワンタッチ記録位置) を表示します。
②	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。

常時録画のデータ名について

日付、時間、期間がデータ名となります。駐停車モードで記録した場合は期間に「(駐停車モード)」と表示されます。

※本体時刻を使用します。(P.39)

2018 / 04 / 04 11 : 38 : 01 [5分]
年 月 日 時 分 秒 期間 (映像の記録時間)

3. ボタン操作について

■ 再生ボタン

映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。

※メニューバーの[再生]からも同様に操作することができます。(P.47)



- ・[再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生] や [早戻し] のボタンをクリックしてください。

■ 再生スピードの変更

◀▶ や ◀▶▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変更できます。

- ・◀▶▶▶ を1回クリックすると1倍速 (通常速度)、2回クリックすると0.5倍速 (スロー) で [再生] または [逆再生] できます。
- ・◀▶▶▶▶▶ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で [早送り] または [早戻し] できます。

■ 再生位置の変更

つまみをスライドさせ ▶▶▶ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。



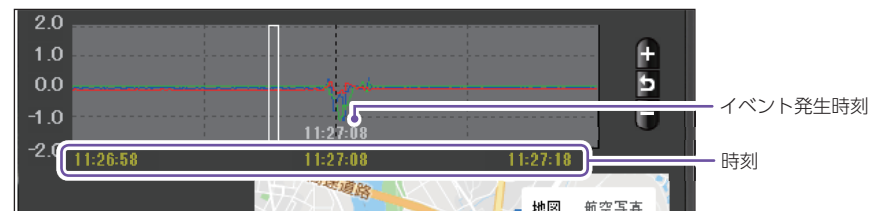
常時録画中に、イベント (衝撃検知) での記録があった場所を黄色の縦線で表示します。

■ 加速度センサー表示

⊕ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、⊖ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

Ⓜ ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

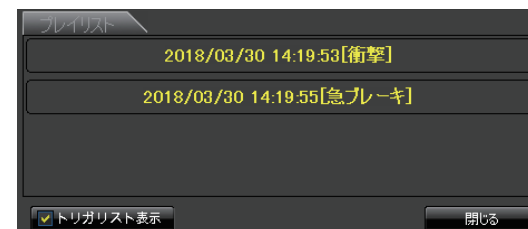
- ・メニューバーの[表示]→[加速度センサースケール]から[拡大][標準][縮小1][縮小2]を選択、操作しても同様の動作となります。
- ・エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



加速度センサースケールは、記録したデータを加速度 (縦軸) と時間 (横軸) でグラフ表示します。

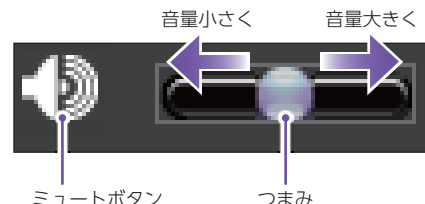
■ トリガリスト表示

☑ トリガリスト表示 (トリガリスト表示ボタン) をクリックするとイベントのトリガリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

■ 音量の調整



- ・つまみをスライドさせて音量を調整します。
- ・音を消したい場合はミュートボタンをクリックしてください。もう一度クリックするとミュートを解除します。

※メニューバーの[再生]からも操作することができます。



保存する

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

1. バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除(●P.63)を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に☒を入れ、[読み込み]をクリックする

1-2  (バックアップ)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[バックアップ]、または記録設定の[バックアップ]でも同じ画面表示になります。

※[全てバックアップ]に☒を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-3 保存先を指定し、[スタート]をクリックする



バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

1-4 [OK]をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

※PC Browserタイプで保存した場合フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

2. 動画変換

記録されたデータをAVI形式の動画に変換して保存できます。

※動画変換をしたAVIファイルは、90°回転した映像になります。あらかじめご了承ください。

動画変換した映像をみる

動画変換して保存したファイルはMicrosoft Media Player Ver12.0以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に☒を入れ、[読み込み]をクリックする

2-2  (動画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[動画変換]でも同じ画面表示になります。

2-3 お好みのファイル名や保存する場所、圧縮形式、字幕、変換区間の項目を指定し、[スタート]をクリックする



※画像圧縮形式を[H.264]にした場合、字幕は保存されません。

[日時設定]など、各項目に☒を入れると、保存ファイルに字幕で各情報を表示します。

2-4 [はい]をクリックする

「動画変換は画像変換処理の実行のために長い時間を必要とします。動画変換を実行しますか?」と表示されます。[はい]をクリックしてください。

2-5 [OK]をクリックする

動画変換が完了すると「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

※*(映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称).aviファイルが保存されます。

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像をJPEG形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択します。

※静止画変換をしたJPEGファイルは、90°回転した画像になります。あらかじめご了承ください。

静止画変換した映像をみる

静止画変換しJPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする

3-2  (静止画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[静止画変換]でも同じ画面表示になります。

3-3 [表示中の静止画すべて]、または[コマ数指定]を選択し、お好みの保存先を指定し、[スタート]をクリックする



・表示中の静止画像

表示されている画面の映像を静止画に変換できます。

・コマ数指定(選択した静止画から)

表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒間>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。

<コマ/秒>

1秒間を何コマで分割するかを設定します。

※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(●P.59)が反映されます。

※静止画枚数は秒×コマ数になります。

3-4 [OK]をクリックする

静止画変換が完了すると「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

印刷する

1. 記録した映像を印刷する

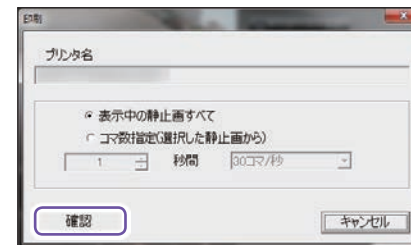
表示されている映像を印刷することができます。

1-1 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする

1-2  印刷をクリックする

※メニューバーの[ファイル]→[印刷]でも同じ画面表示になります。

1-3 [表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択し、[確認]をクリックする



・表示中の静止画

表示エリアの映像を印刷します。

・コマ数指定

表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(●P.59)が反映されます。
※印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-4 印刷する



・印刷

印刷枚数を確認します。[OK]をクリックすると印刷を行います。

・プリンタ設定

印刷するプリンタの設定を行います。

・1コマ表示

1枚に1コマの映像データを表示します。

・4コマ表示

1枚に4コマの映像データを表示します。

1-5 [閉じる]をクリックする

印刷を終了します。

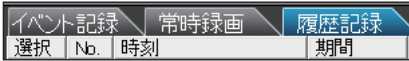
履歴記録

1. 履歴記録を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本体が電源ONしている間、GPS測位によって約1秒ごとに自車位置を記憶し、設定した時間分(P.59)の履歴(ログデータ)をSDカードに保存します。

- ※GPS測位できない場合は、自車位置を記録できません。
- ※合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。
- ※履歴(ログデータ)を作らないようにすることはできません。
- ※履歴記録のデータ名は本体時刻を使用します。(P.39)

1-1 [履歴記録]をクリックする



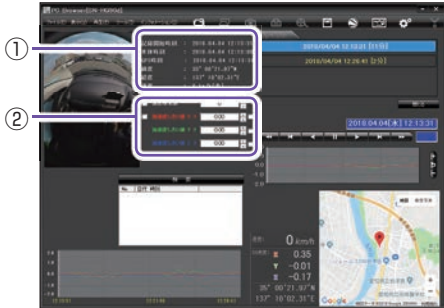
1-2 見たいデータ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする



選択したデータが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は P.46 「ボタン操作について」を参照ください。

- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[履歴記録]でも同じ画面表示になります。

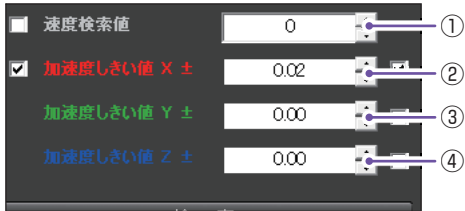
■ 画面表示について



No	表示名	説明
①	データ情報 (記録開始時刻、 本体時刻、GPS 時刻、緯度、経度、 速度)	映像の記録日などの情報を表示 できます。
②	検索	加速度の値を設定 し、検索すること ができます。

■ 検索

履歴の中から設定した値を越える衝撃(加速度)の映像を検索でき、データとして表示します。



- ・☑を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No	表示名	説明
①	速度検索値	検索したい速度の値を設定します。
②	加速度しきい値X±	検索したい前後方向の値を設定します。
③	加速度しきい値Y±	検索したい左右方向の値を設定します。
④	加速度しきい値Z±	検索したい上下方向の値を設定します。

■ データ情報

読み込まれたデータ名の記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度(進行方向)を表示します。

記録開始時刻	: 2018.04.04 12:13:31
本体時刻	: 2018.04.04 12:13:00
GPS時刻	: 2018.04.04 12:13:31
緯度	: 35° 00'21.97"N
経度	: 137° 10'02.31"E
速度	: 0 km/h[北]

ログデータ変換

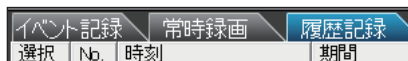
1. Google Earth用のデータに変換する

蓄積された履歴データをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使ってGoogle Earth上で全走行ルートが表示できます。また記録した映像を静止画に変換して(P.50) Google Earthの機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

※あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earthをダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

※Google Earthのご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1-1 [履歴記録]をクリックする



1-2 変換したいデータ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。

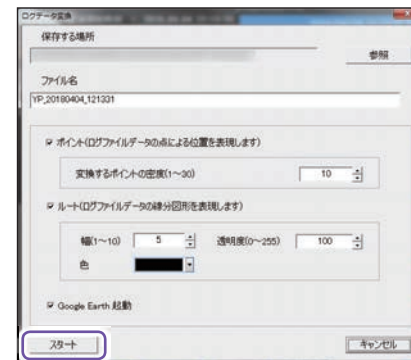
※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[履歴記録]を選択しクリックしても同じ画面表示になります。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

1-3 (ログデータ変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[ログデータ変換]でも同様の動作となります。

1-4 保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、[スタート]をクリックする



■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS測位による1秒間隔の自転車位置変化をポイントとしてGoogle Earthに表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

・変換するポイントの密度：(1 ~ 30)

Google Earthに表示させる自転車位置の間隔を秒数(1 ~ 30)で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く(広く)なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

・幅：(1 ~ 10)

走行軌跡表示の幅を設定します。

・透明度：(0 ~ 255)

走行軌跡表示の透明度を設定します。0は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

・色

走行軌跡表示の色を設定します。

■ Google Earth 起動

ログファイル保存完了後、Google Earthを自動で起動します。

1-5 [OK]をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックし終了してください。

※[Google Earth 起動]に☑を入れると、ログファイル保存完了後Google Earthが起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※走行軌跡はGoogle Earth上の道路や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

レポートを表示する

レポートを作成し表示することができ、またレポートを印刷することができます。
※一度に複数のレポートは表示できません。

1. レポートを表示(印刷)する

例：イベント記録をレポート表示する

1-1 イベント記録をクリックする



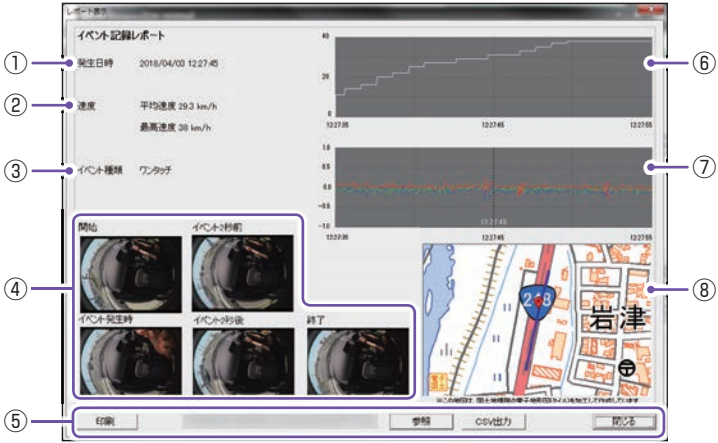
1-2 表示したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み]をクリックする



- ※複数のデータを選択できます。
- ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☑が表示されます。
- ※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[イベント]を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
- ※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 (レポート表示)をクリックする

イベント記録レポートが表示されます。
※メニューバーの[ツール]→[レポート表示]でも同様の動作となります。



No	表示名		説 明
①	発生日時		イベント発生日時を表示します。
②	速度		平均速度、最高速度を表示します。
③	イベント種類		イベントの種類を表示します。
④	画像		録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ		速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
⑦	加速度グラフ		加速度グラフを表示します。(縦型は速度、横軸は時間を示します。)
⑧	地図		地図を表示します。

1-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

プレビュー画面が表示されます。

常時録画、履歴記録のレポートを表示する場合も、イベント記録と同様にデータを選択して (レポート表示) をクリックしてください。

設定を変更する



- ①「記録設定」..... (P.59)
②「システム」..... (P.61)
③「衝撃感度設定」..... (P.61)
④「SDカードフォーマット」..... (P.62)
⑤「録画データ削除」..... (P.63)
⑥「バックアップ」..... (P.64)
⑦「無線LAN接続ID変更」 (P.64)

- ・設定変更を行う場合は必ずSDカードをSDカードリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容はSDカードに保存されます。
- ・設定変更後は、必ず[SDカードへ保存]をクリックして設定をSDカードに保存してください。
- ・SDカードを本体に戻し、本体を電源ONすると設定内容が読み込まれ本体に反映されます。

1. 記録設定

⚙️ (記録設定) をクリックすると、各種の設定変更やSDカードの初期化や録画データのバックアップ、SDカードからの録画データの削除を行うことができます。
※メニューバーの[ツール]→[記録設定]でも同じ画面表示になります。

■ 録画方法

録画する方法を[常時録画][イベント記録][常時+イベント]から選択できます。

※初期値は[常時+イベント]です。

常時録画	エンジン始動時からエンジン停止直前までの映像をSDカードに記録します。 初期値(P.21)で、付属のSDカード(16GB)に約70分の常時録画が可能です。 ※[常時録画]に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。 ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
イベント記録	衝撃を検知した場合に映像を記録します。
常時+イベント ^{※1}	常時録画を行いながら衝撃を検知した場合、映像を別のデータで記録します。

※1:「イベント記録コマ数」が表示されます。

⚠️ 注意

- ・すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([常時録画]から[イベント記録]への変更など)は、SDカードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。(P.64)
- ・削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■ 解像度

記録する映像の解像度を選択できます。

※初期値は[高(2048×1440)]です。

解像度	高(2048×1440)、中(1024×720)、低(640×450)
-----	-------------------------------------

■ 録画コマ数

記録する映像のコマ数を選択できます。

※初期値は[30コマ/秒]です。

録画コマ数	30,15,10,5,1 コマ/秒
-------	-------------------

■ イベント記録時間

イベント記録時間を設定します。

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

※初期値は[10,10 [20秒]]です。

イベント記録時間	60秒(30,30)、50秒(30,20)(25,25) 40秒(20,20)(25,15)(30,10)、30秒(18,12)(20,10) 20秒(10,10)(12,8)(15,5)
----------	--

■ 音声記録

音声も記録する場合に[ON]にします。
※初期値は[ON]です。

■ 履歴記録時間

24時間、168時間、480時間のログ(加速度/時間)を記録します。
※初期値は[24時間]です。

■ 履歴記録コマ数

1秒間に記録する履歴記録のコマ数を[1コマ/秒][2コマ/秒]から選択できます。
※初期値は[1コマ/秒]です。

■ 駐停車モード

常時録画時に、加速度センサーの変動値が一定以下の状態が5分間続くと、録画コマ数が1コマ/秒となり駐停車モードの録画に切り替わります。
駐停車モード時に振動を検知して、加速度センサーの変動値が一定以上になると、自動的に常時録画で設定したコマ数での録画に切り替わります。
駐停車モード時のランプ動作は、 P.71 を参照ください。
※初期値は[ON]です。

■ 通信設定

無線LAN接続中に通信範囲外になった場合、自動で録画を再開するまでの時間を設定できます。

録画再開時間	再開しない、30秒、1分、5分
--------	-----------------

※初期値は[5分]です。

■ 上書きモード

SDカードの空き容量が不足したときの映像や履歴の保存方法を選択できます。
[ON]または[OFF]から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きします。
OFF	SDカードの容量がいっぱいになると映像は保存しません。

※初期値はすべての録画方法で[ON]です。

2. システム

■ ビープ音

イベント記録時の音のON/OFFを設定できます。
※初期値は[ON]です。

■ SDカードID

SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。

■ 日時設定

[☐設定する]にを入れ、日付や時刻を設定できます。
※本体を電源ONするとSDカードから読み込み、日時を修正します。
現在時刻ではなく、次に本体を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。
※GPS測位している場合、電源OFFした際に本体時刻の補正が自動的に行われます。

■ 使用機種

使用する機種を選択できます。使用する機種を選択し[機種変更を実行]をクリックしてください。
※メニューバーの[ツール]→[機種選択]からも使用機種を選択できます。
※使用する機種のみ変更されます。他の設定データは変更されません。

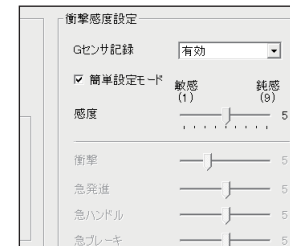
3. 衝撃感度設定

■ Gセンサ記録

Gセンサー記録の[有効]、[無効]を切り替えます。( P.19 [イベント記録])
※初期値は[有効]です。
※[有効]にした場合、[常時録画]に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。
※[無効]にした場合、すべての録画方法において、Gセンサー記録を行いません。

■ 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。
敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は[5]に設定されています。



感度レベル	動作・使用条件
1(敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
	標準設定(基本的に事故のみを記録)
	通常運転時に反応してしまう場合
9(鈍感)	

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの ☒ を外すと衝撃、急発進、急ハンドル、急ブレーキの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定できます。

※衝撃、急発進、急ハンドル、急ブレーキの設定値を同一にした場合、次回設定読み込み時には簡単設定モードに ☒ が入ります。

- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応（本体から『ピー』と鳴る）しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

■ 設置角度検出を実行

本機を初めて取り付けるときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。

※操作手順は  P.31 を参照ください。

5. SDカードフォーマット

一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合にフォーマットを行ってください。また、数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。[SDカードフォーマット]をクリックするとSDカードフォーマット画面が表示されます。（ P.12 「SDカードをフォーマットする」）

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格に対応したSDカードリーダーライターやSDHC規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

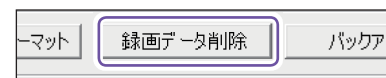
6. 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると[録画データ削除]と[記録設定データ初期化]が選択画面に表示されます。

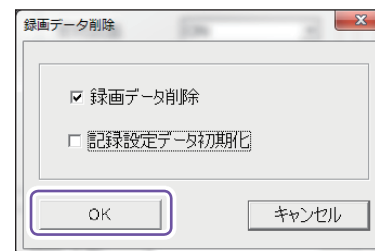
- ・SDカード内に記録されたデータを削除します。
- ・いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。（ P.48）

例：録画データのみ削除する場合

6-1 [録画データ削除]をクリックする



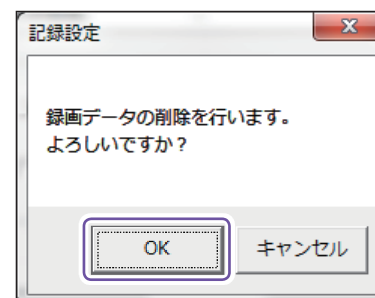
6-2 [録画データ削除]に ☒ が入っているか確認し、[OK]をクリックする



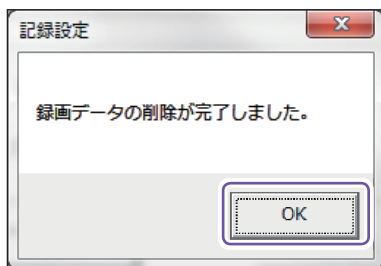
- ・録画データ削除
☒ を入れると録画データを削除します。
- ・記録設定データ初期化
☐ を入れると記録設定データを初期化します。

※録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に ☒ を入れてください。

6-3 [OK]をクリックする



6-4 [OK]をクリックする



7. バックアップ

SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※操作手順は、➡ P.48を参照ください。

8. 無線LAN接続ID変更

接続認証ID及びSSIDには初期値が設定されています。ID及びパスワードを変更したい場合のみ操作を行ってください。

※記録設定データの初期化(➡ P.63)、またはSDカードフォーマット画面(➡ P.13)の「記録設定データを維持」の☐を外してフォーマットを行っても、接続認証IDとSSIDは変更されません。接続認証IDとSSIDに関する変更は、無線LAN接続ID変更から行ってください。

現在設定されているIDとパスワードは表示されません。あらかじめご了承ください。

■ ①接続認証ID変更

現在設定している接続認証IDを変更できます。

※半角英数字・半角記号で入力してください。

※接続認証IDは1文字以上14文字以内、パスワードは1文字以上14文字以内で入力してください。

■ ②SSID設定

現在設定している本機のネットワーク名(SSID)を変更できます。

※半角英数字・半角記号で入力してください。

※SSIDは1文字以上30文字以内、パスワードは8文字以上14文字以内で入力してください。

インフォメーション

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

■ ホームページ^{※1}

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

※画面右上のをクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

■ Google Maps/Google Earth追加利用規約^{※1}、Google Privacy Policy^{※1}

クリックするとGoogle Maps/Google Earthなどの利用規約を確認することができます。

※1：インターネットの接続が必要になります。あらかじめパソコンをインターネットに接続してから行ってください。

専用アプリについて

専用アプリ「DR Remote TypeD」を使用し、スマートフォンと本機を無線LAN接続することにより、本機の録画ファイルをスマートフォンで再生したり、スマートフォンから録画操作や各種設定を行うことができます。

※専用アプリを使用する場合、本機の接続認証IDの入力が必要になります。(P.24)

※以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。

iOS : 10、11

Android : 5、6、7、8 (Google Play対応)

※ 2018年3月現在

1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ「DR Remote TypeD」をスマートフォンにインストールします。
インストール方法/専用アプリの使い方/対応機種は、下記のQRコードまたは弊社ホームページをご覧ください。

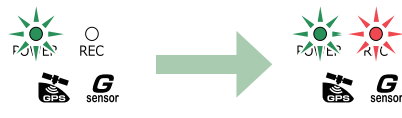
<https://www.yupiteru.co.jp/app/dry-remote-d/>



2. 無線LAN接続する

※本機と無線LAN接続できる機器はスマートフォン1台です。

2-1 車両のエンジンをONする



POWERランプ(緑)点灯

POWERランプ(緑)
/RECランプ(赤)点灯

POWERランプが点灯し(録画準備中)、その後にRECランプが点灯して録画を開始します。

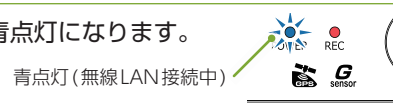
・ランプの詳細は…
P.71「動作一覧」

2-2 お使いのスマートフォンを本機の無線LANに接続する

接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿って接続してください。
本機は「001ACE」から始まるSSID(ネットワーク名)で表示されます。

※初めて接続する際は、パスワード(1234567890)の入力が必要になります。

接続完了後は、POWERランプが青点灯になります。



青点灯(無線LAN接続中)

別売品のSDカードを使用する前に・・・

別売品のSDカード(OP-SD08、OP-SD16、OP-SD32)を本機で使用する場合、「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」が必要になります。使用前には必ず下記の手順で行ってください。

※そのまま使用した場合、正常に動作しません。あらかじめご了承ください。

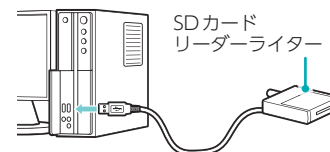
※専用ソフトに接続した際に、「有効なSDカードではありません」と表示された場合にも下記の操作を行ってください。

1. 使用前の準備

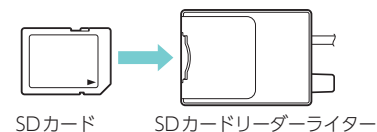
- 1-1** 最新の専用ソフトに更新する
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

- 1-2** SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

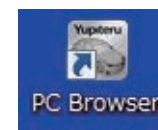


- 1-3** SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

- 1-4** デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-5** メニューバーの[ツール]→[機種選択]→[SN-HQ90d]を選択する

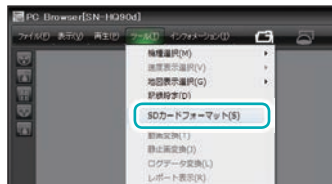


PC Browserの右側に[SN-HQ90d]と表示されます。

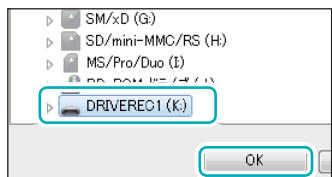
※間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

その他

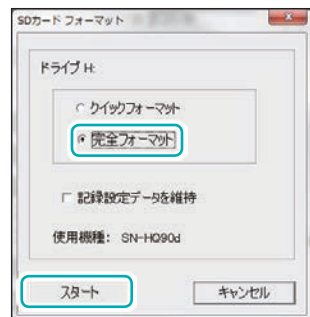
- 1-6 メニューバーの[ツール]
→[SDカードフォーマット]を
選択する



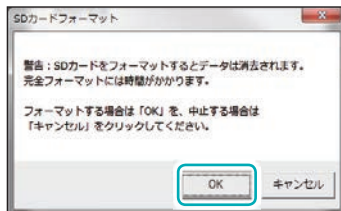
- 1-7 [DRIVEREC1]を選択し、
[OK]をクリックする



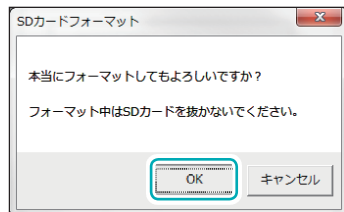
- 1-8 [完全フォーマット]を選択し、
[スタート]をクリックする



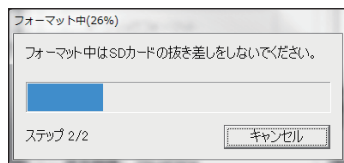
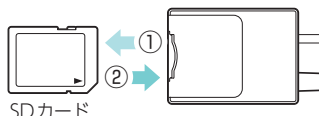
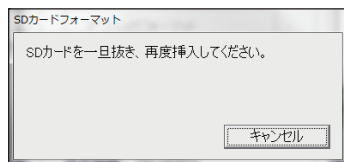
- 1-9 [OK]をクリックする



- 1-10 [OK]をクリックする

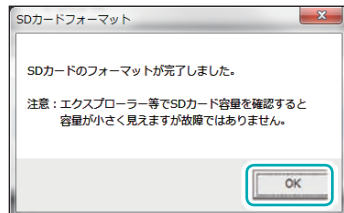


- 1-11 SDカードを抜き差しする



フォーマットが開始されます。

- 1-12 [OK]をクリックする



以上で使用前の準備は終了です。
各種設定 (P.58) を行ってから
SDカードをパソコンから取り外し、
本機に装着してご使用ください。

SDカードの機種設定の確認/変更

専用ソフトで、SDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定と使用するドライブレコーダーが異なると、録画できない場合があります。使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更してください。(P.70)

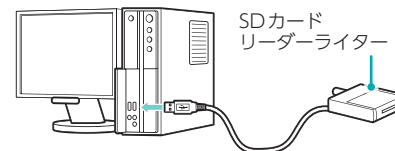
1. SDカードの機種設定を確認する

- 1-1 最新の専用ソフトに更新する

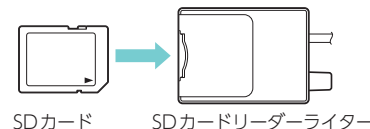
下記の URL から最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

- 1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされている
パソコンに接続する

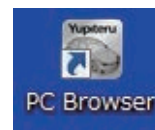


- 1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

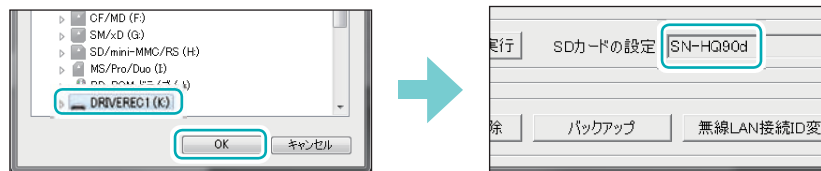
- 1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-5 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



1-6 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする

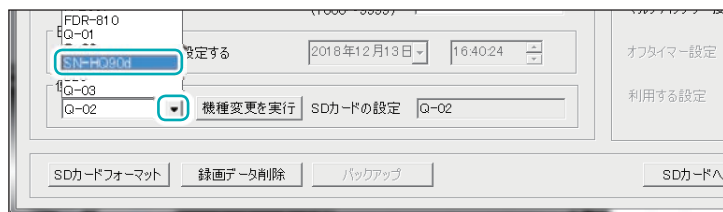


設定画面の「SDカードの設定」に設定している機種名が表示されます。

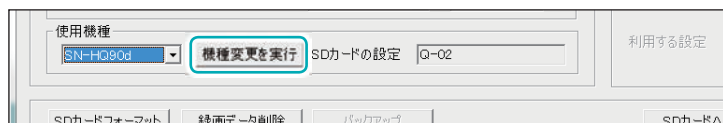
2. SDカードの機種設定を変更する

例) Q-02で設定されていたSDカードをSN-HQ90dに変更する。

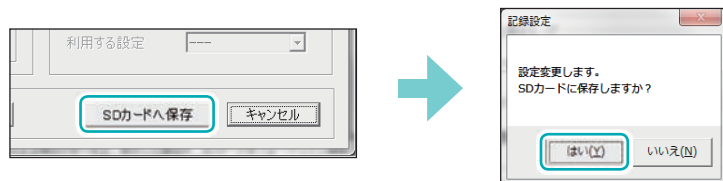
2-1 設定画面の[使用機種] をクリックし使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行]をクリックする



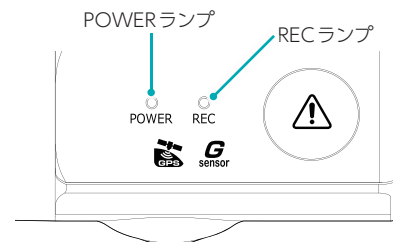
2-3 [SDカードへ保存]をクリックし、[はい]をクリックする



使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

動作一覧



POWER ランプ

- (緑)：電源 ON 状態 (無線 LAN 未接続)
- (青)：電源 ON 状態 (無線 LAN 接続中)
- (赤)：電源 ON 状態 (無線 LAN 通信エラー)

REC ランプ

- (赤)：録画状態

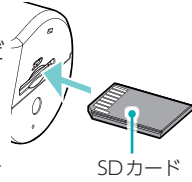
動作状態	ランプ POWER ランプ (緑) REC ランプ (赤)	音	参照 ページ
録画準備中 ※ 録画方法 [イベント記録] でイベント 記録待機中も同様になります。	(緑) (赤) 消灯	—	—
録画中 録画方法 ・ 常時録画 ・ 常時録画 + イベント記録	(緑) (赤) 上書き時 (緑) (赤)	—	P.18
録画中 (駐車モード) 録画方法 ・ 常時録画 ・ 常時録画 + イベント記録	(緑) (赤) 上書き時 (緑) (赤)	—	P.20 P.59
イベント記録中 録画方法 ・ イベント記録 ・ 常時録画 + イベント	(緑) (赤) 上書き時 (緑) (赤)	『ピー』	P.19
電源 OFF	(緑) 消灯 (赤) 消灯	—	—

※ いずれの記録方法も SD カードの上限に達していない場合。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にランプと音でお知らせします。

※音を止める場合は、記録ボタンを押してください。

ランプ POWERランプ(緑/赤) RECランプ(赤)	音	症状・対処法
(緑)  (赤) 消灯	『ピー———』	☐ 付属のSDカードが正しく挿入されていません。 付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。  SDカード
(緑)  (赤)  消灯	『ピーピーピー』	☐ SDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっていませんか。 車両のエンジンをOFFして、付属のSDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにして、再度正しく挿入してください。  プロテクトスイッチ SDカード
(緑)  (赤)  4回だけ鳴る	『ピーピーピー』と4回だけ鳴る	☐ 本機専用以外のSDカードが挿入されていませんか。 付属または本機専用のSDカードを正しく挿入してください。(● P.17) ☐ 「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」を行ってください。(● P.67「使用前の準備」)
(緑)  (赤) 	『ピーピーピー』と4回だけ鳴る	☐ SDカードの容量が不足しています。 ・専用ソフトで「上書きモード」を[ON]にしてください。(● P.59) ・容量が大きいSDカードで録画してください。(● P.16) ※履歴記録の容量が不足している場合は、音によるお知らせのみになります。
(赤)  (赤) 	—	☐ 無線LAN通信エラーです。 一度本機を電源OFFし、再度接続を行ってください。(● P.66)

故障かな？と思ったら

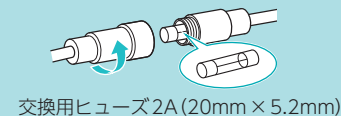
修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

☐ 電源コードが外れていないか確認してください。

☐ 電源コードのヒューズが切れていないか確認してください。

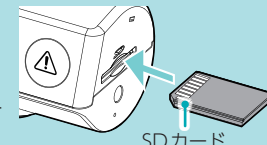
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

☐ 付属のSDカードを装着していますか、または抜けていませんか。

付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(● P.17)



SDカード

SDカードに録画データが保存されていない

☐ 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。(● P.12)

☐ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

付属品、または別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

専用ソフトが起動できない/ 起動できるがSDカードのデータを読み込めない

☐ パソコンにDirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていますか。

付属DirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていないと起動できない場合があります。DirectX9.0c以降のバージョンをインストールするかアップデートしてください。

専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザーの権限などを確認してください。(3.5)」と表示される

☐ 「管理者権限」で専用ソフトを起動していますか。

パソコンのローカルディスクC: ¥Program Files(x86) ¥PC Browser フォルダを開いて、「PC Browser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「互換性」タブ内の、「特権レベル」から、「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

専用ソフトを起動すると「ディスプレイ設定(DPI)を確認してください」と表示される

☐ ご使用のパソコンのディスプレイ設定を開いて、項目のサイズが「100%」になっているか確認してください。

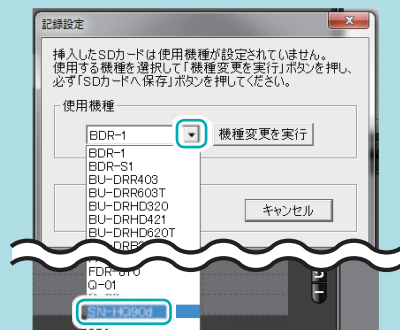
専用ソフトでSDカードを読み込むと「有効なSDカードではありません」と表示される

- ☐ 専用ソフトで完全フォーマットを行ってください。(P.67)

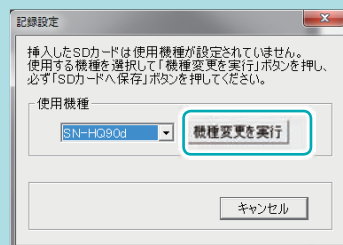
専用ソフトでSDカードを読み込むと「挿入したSDカードは使用機種が設定されていません。」と表示される

- ☐ 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。

①使用機種の▼をクリックし使用機種を選択する



②[機種変更を実行]をクリックする

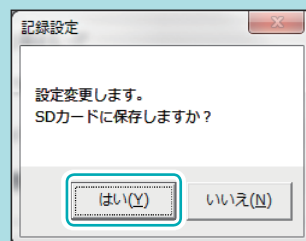


③設定画面の[SDカードへ保存]をクリックする



※[キャンセル]を選択した場合、設定が保存されません。

④[はい]をクリックする



SDカードに使用機種の設定が保存されます。

映像が記録できない

- ☐ 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。
付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(P.17)
- ☐ 記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。
上書きモードがOFFの場合上書きができません。
SDカードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更してください。(P.59)

室内の映像が暗い

- ☐ NIGHT(ナイト)モードをONにしてください。
映像を明るく表示します。(P.38、42)

イベント記録がうまく働かない

- ☐ 加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。(P.61)
感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ☐ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属、または別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

駐車記録ができない(電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)を接続した場合)

- ☐ 別売品の電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の電源スイッチがONになっていましたか。(P.27)
- ☐ 別売品の電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の検出電圧設定、オフタイマー設定はしてありますか。
- ☐ エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(P.29)

仕様	
電源電圧	DC5V(DC12V/24V マイナスアース車用)
消費電力	7W
カメラ素子	680万画素 カラー CMOS (STARVIS™技術搭載※2)
視野角※1	水平 150° × 垂直 240°
記録解像度	300万画素※1
画像サイズ	高 (2048 × 1440)、中 (1024 × 720)、低 (640 × 450)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)
記録媒体	SDHCカード (16GB 付属)
記録形式	独自フォーマット
イベント記録時間 (前後記録時間)	60秒 (30,30)、50秒 (30,20) (25,25)、40秒 (20,20) (25,15) (30,10)、 30秒 (18,12) (20,10)、20秒 (10,10) (12,8) (15,5)
フレームレート	30,15,10,5,1 コマ/秒
動作温度範囲	-10℃ ～ + 60℃
外形寸法	88 (W) × 50 (直径) mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット (テープ貼付) 装着時 74.5 (H) mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
重量	約 170g (SDカード含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	-10 ～ 60℃
外形寸法	46 (W) × 36 (H) × 16 (D) mm (突起部除く)
重量	約 34g

※1：専用ソフトの画像処理で減少します。

※2：STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

※STARVISは、ソニー株式会社の商標です

映像記録時間の目安

録画方法 (P.59) の選択により記録時間が変化します。また、被写体や周囲環境などの要因により、記載している数値や件数と異なることがあります。記載している数値は目安で、絶対保障値ではありません。

※[常時+イベント]はおおよそですが、SDカード容量を常時70%、イベント30%で使用します。
[常時録画]や[イベント記録]の場合は、選択した録画方法でSDカード容量を100%使用します。

1. [常時+イベント]に選択した場合の録画時間

解像度 [高 (2048x1440)] の場合、以下のようになります。

	8GB	16GB(付属)	32GB
30コマ/秒	約 35 分	約 70 分	約 140 分
15コマ/秒	約 70 分	約 140 分	約 280 分
10コマ/秒	約 87 分	約 175 分	約 350 分
5コマ/秒	約 175 分	約 350 分	約 700 分
1コマ/秒	約 490 分	約 980 分	約 1,960 分

解像度 [中 (1024x720)] の場合、以下のようになります。

	8GB	16GB(付属)	32GB
30コマ/秒	約 56 分	約 112 分	約 224 分
15コマ/秒	約 112 分	約 224 分	約 448 分
10コマ/秒	約 140 分	約 280 分	約 560 分
5コマ/秒	約 280 分	約 560 分	約 1,120 分
1コマ/秒	約 700 分	約 1,400 分	約 2,800 分

解像度 [低 (640x450)] の場合、以下のようになります。

	8GB	16GB(付属)	32GB
30コマ/秒	約 140 分	約 280 分	約 560 分
15コマ/秒	約 280 分	約 560 分	約 1,120 分
10コマ/秒	約 350 分	約 700 分	約 1,400 分
5コマ/秒	約 700 分	約 1,400 分	約 2,800 分
1コマ/秒	約 1,750 分	約 3,500 分	約 7,000 分

※録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。

※1：音声記録を OFF にした場合の目安時間になります。

2. [常時+イベント]に選択した場合のイベント記録件数

16GBのSDカード (付属品) で解像度[高(2048x1440)]の場合、以下のようになります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
前後の合計60秒	30 件	60 件	75 件	150 件	450 件
前後の合計50秒	39 件	78 件	90 件	180 件	540 件
前後の合計40秒	48 件	96 件	120 件	240 件	600 件
前後の合計30秒	66 件	132 件	150 件	300 件	840 件
前後の合計20秒	96 件	192 件	240 件	480 件	1,320 件

16GBのSDカード (付属品) で解像度[中(1024x720)]の場合、以下のようになります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
前後の合計60秒	54 件	108 件	135 件	270 件	750 件
前後の合計50秒	63 件	126 件	180 件	360 件	900 件
前後の合計40秒	81 件	162 件	195 件	390 件	1,140 件
前後の合計30秒	108 件	216 件	255 件	510 件	1,530 件
前後の合計20秒	165 件	330 件	360 件	720 件	2,280 件

16GBのSDカード (付属品) で解像度[低(640x450)]の場合、以下のようになります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
前後の合計60秒	135 件	270 件	300 件	600 件	1,680 件
前後の合計50秒	165 件	330 件	360 件	720 件	2,040 件
前後の合計40秒	195 件	390 件	450 件	900 件	2,550 件
前後の合計30秒	270 件	540 件	600 件	1,200 件	3,300 件
前後の合計20秒	420 件	840 件	900 件	1,800 件	5,100 件

※SDカード (32GB) の場合、記録件数は2倍になり、SDカード (8GB) の場合、記録件数は半分に
なります。

3. [常時録画]に選択した場合の録画時間

解像度[高(2048x1440)]の場合、以下のようになります。

	8GB	16GB(付属)	32GB
30コマ/秒	約50 分	約100 分	約200 分
15コマ/秒	約100 分	約200 分	約400 分
10コマ/秒	約125 分	約250 分	約500 分
5コマ/秒	約250 分	約500 分	約1,000 分
1コマ/秒	約700 分	約1,400 分	約2,800 分

解像度[中(1024x720)]の場合、以下のようになります。

	8GB	16GB(付属)	32GB
30コマ/秒	約80 分	約160 分	約320 分
15コマ/秒	約160 分	約320 分	約640 分
10コマ/秒	約200 分	約400 分	約800 分
5コマ/秒	約400 分	約800 分	約1,600 分
1コマ/秒	約1,000 分	約2,000 分	約4,000 分

解像度[低(640x450)]の場合、以下のようになります。

	8GB	16GB(付属)	32GB
30コマ/秒	約200 分	約400 分	約800 分
15コマ/秒	約400 分	約800 分	約1,600 分
10コマ/秒	約500 分	約1,000 分	約2,000 分
5コマ/秒	約1,000 分	約2,000 分	約4,000 分
1コマ/秒	約2,500 分	約5,000 分	約10,000 分

※1：音声記録をOFFにした場合の目安時間になります。

4. [イベント記録]に選択した場合のイベント記録件数

16GBのSDカード(付属品)で解像度[高(2048x1440)]の場合、以下のようになります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
前後の合計60秒	100 件	200 件	250 件	500 件	1,500 件
前後の合計50秒	130 件	260 件	300 件	600 件	1,800 件
前後の合計40秒	160 件	320 件	400 件	800 件	2,000 件
前後の合計30秒	220 件	440 件	500 件	1,000 件	2,800 件
前後の合計20秒	320 件	640 件	800 件	1,600 件	4,400 件

16GBのSDカード(付属品)で解像度[中(1024x720)]の場合、以下のようになります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
前後の合計60秒	180 件	360 件	450 件	900 件	2,500 件
前後の合計50秒	210 件	420 件	600 件	1,200 件	3,000 件
前後の合計40秒	270 件	540 件	650 件	1,300 件	3,800 件
前後の合計30秒	360 件	720 件	850 件	1,700 件	5,100 件
前後の合計20秒	550 件	1,100 件	1,200 件	2,400 件	7,600 件

16GBのSDカード(付属品)で解像度[低(640x450)]の場合、以下のようになります。

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
前後の合計60秒	450 件	900 件	1,000 件	2,000 件	5,600 件
前後の合計50秒	550 件	1,100 件	1,200 件	2,400 件	6,800 件
前後の合計40秒	650 件	1,300 件	1,500 件	3,000 件	8,500 件
前後の合計30秒	900 件	1,800 件	2,000 件	4,000 件	11,000 件
前後の合計20秒	1,400 件	2,800 件	3,000 件	6,000 件	17,000 件

※SDカード(32GB)の場合、記録件数は2倍になり、SDカード(8GB)の場合、記録件数は半分に
なります。

索引

数字	解像度 58
180° VRパノラマ表示 40	拡大フラット表示 40
2画面表示 40	画質 75
D	画像サイズ 75
DCジャック 14	画像表示エリアメニュー 41
G	加速度センサー表示 46
Gセンサー記録 18, 60	カメラ素子 75
N	簡単設定モード 60
NIGHTモード 38, 42	き
O	魚眼表示 39
OP-SD08 15, 66	記録解像度 75
OP-SD16 15, 66	記録形式 75
OP-SD32 15, 66	記録設定 58
OP-VMU01 15, 21, 26, 75	記録媒体 75
P	記録ボタン 14
POWERランプ 14, 70, 71	さ
R	再生ボタン 38, 45
RECランプ 14, 70, 71	最低被写体照度 75
S	し
SDカード 10, 16	システム 60
SDカードID 60	視野角 75
SSID 23, 63	重量 75
STARVIS 75	使用機種 60
あ	衝撃感度設定 60
アフターサービス 85	常時録画 17
い	消費電力 75
イベント記録 17, 18	シリアルナンバー 14
イベント記録件数 77, 79	す
イベント記録時間 58, 75	スペアパーツダイレクト 15
印刷 50	せ
インフォメーション 64	静止画変換 49
う	接続認証ID 23, 63
上書きモード 19, 59	設置角度検出 61
お	専用アプリ 65
お客様ご相談センター 85	専用ソフト 30, 36
音量切替ボタン 38	た
音声記録 59	タイムライン 43, 45
か	ち
外形寸法 75	駐車記録 19
	つ
	通信設定 59

その他

その他

索引

て

データ名	44, 45
電圧監視機能付 電源ユニット…	15, 21, 26, 75
電源直結コード	15, 21, 25
電源電圧	75

と

動画変換	48
動作温度範囲	75
トリガ	44
トリガリスト表示ボタン	43, 45, 46

な

ナット	14
-----------	----

に

日時設定	60
------------	----

は

バックアップ	47
--------------	----

ひ

ビーブ音	60
表示切替ボタン	37, 39

ふ

フォーマット	12, 61
ブラケット	14
フレームレート	75

へ

別ウィンドウで表示	40, 42
-----------------	--------

ま

マルチトリガー	19
---------------	----

め

メニューバー	37
メンテナンス	21

り

履歴記録時間	59
履歴記録	51
履歴記録コマ数	59

れ

レポート	55
レンズ	14

ろ

録画コマ数	58
録画時間	76, 78
録画データ削除	62
録画方法	58
ログデータ変換	53

わ

ワンタッチ記録	18
---------------	----